

# なす からすやま

No.148

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City



特集 私たちにできるエシカル消費……………	2
第4回市議会定例会……………	6
第13回那須烏山市マラソン大会……………	8
介護予防・ふれあいの里事業……………	10
山あげ俳句全国大会……………	12
栃木県統計大会の表彰……………	14
けんこう・消費者コラム……………	15
まちのわだい……………	16
インフォメーション……………	18
烏山高校の紹介・ジオパーク構想だより……………	20



なかよしコンピ(12月14日、田野倉)



私たちにできる

# エシカル消費

あなたの消費が世界の未来を変える!?

みなさんは、「エシカル消費」をご存知ですか？那須烏山市消費生活センターでは、振り込め詐欺や架空請求など、私たち消費者が抱える問題を幅広くとらえ、それに対する対処法や防止策などを呼びかけています。そこで今回は、私たちの消費生活について改めて考えるために、あまり知られていない「エシカル消費」をテーマに取り上げてみたいと思います。

私たちは日々、何かを消費して生きています。食べ物、水、電気、石油、紙、洋服…1日を振り返ってみても、多くのものを消費する豊かな生活を送っています。みなさんは、私たちが食べたり、使ったり、着たりしているものが誰の手によって、どこでどのように作られたか考えたことはありませんか？自分で意識的に調べない限り、それを知ることはありません。



## エシカル消費の分類

環境に 配慮された消費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン購入</li> <li>・エコマーク付き製品</li> <li>・自然エネルギー利用</li> <li>・有機農産物</li> <li>・リサイクル製品</li> <li>・消費期限の早い順から製品を選択（食品ロス削減）</li> </ul> 
人・社会に 配慮された消費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者の作った製品、障がい者雇用企業の製品</li> <li>・フェアトレード製品</li> <li>・生産・流通段階で、児童労働や強制労働などの社会問題や環境問題を引き起こしていない服（エシカルファッション）</li> <li>・寄付付き製品</li> </ul> 
地域に 配慮された消費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消（地域の活性化・雇用増）</li> <li>・地元商店での買い物</li> <li>・災害等被災地への応援消費</li> <li>・地域の文化・伝統技術伝承に役立つ製品</li> </ul> 



けれども、私たちが消費しているものの生産背景を知ると、とても大切なことです。なぜなら、それが地球温暖化や森林減少など様々な環境問題、発展途上国の貧困や飢餓、児童労働など深刻な社会問題を解決するためのきっかけとなるからです。

もし、今、自分が手にしているもののせいで誰かが苦しんだり、自然が破壊されたりしていたら、どう感じますか？

私たちは、今のままの生活を続けていても大丈夫でしょうか。地球環境や地域社会を守り、未来につなげていくために、私たちは今、何をすべきでしょうか。考えてみましょう。

### 「エシカル消費」って何？

世界で起きている、深刻な問題を消費者として解決する有効な手段として「エシカル消費」があります。「エシカル (ethical)」とは「倫理的・道徳的」という意味で、エシカル消費とは「人や社会、環境に配慮したものやサービスをを選んで消費すること」です。

それでは、どのような消費がエシカル消費なのでしょうか。

上表のように、「環境に配慮された消費」「人・社会に配慮された消費」「地域に配慮された消費」の3つに分類し、具体的な消費の例を挙げてみます。

例えば、「環境に配慮された消費」とは、普段から私たちは自然環境に頼って生きているという意識を持って、環境を思いやって消費することです。環境に配慮した製品の購入は「グリーン購入」と呼ばれ、日本では20年以上の歴史があります。

また、「人・社会に配慮された消費」

とは、例えば、障がいのある人が地域社会の中で自立した質の高い生活を送ることができるよう配慮するという視点から、障がいのある人が携わった商品を積極的に消費することです。

さらに、「地域に配慮された消費」は、「地産地消」や被災地などを応援するために購入し消費する「応援消費」があり、日本では2011年の東日本大震災以降、応援消費が活発になっています。

ここに挙げたもの以外にも、エシカル消費にあてはまるものはたくさんあります。どのようなものがあるのか、みなさんも考えてみましょう。

### なぜ今、エシカル消費なの？

現在の大量消費社会では、製品の生産や廃棄の現場が、消費者から見えにくくなっています。消費者は、単にお金を通じて製品を購入する存在になり、製品が生産された背景や廃棄後のものの行方への関心は薄れがちです。一方で、「ハロ



ワイン」や「バレンタイン」など企業が創り出す流行や消費を促すCMといった様々な手段により、消費意欲への関心が引き起こされています。

ここで、私たちが今着ている衣類について考えてみましょう。

## 【エピソード①】

一般的なコットンの生産には大量の農薬が使われるのですが、この農薬による健康被害で毎年約2万人が亡くなり、300万人もの人々が慢性の病に苦しんでいます。

生産者のほとんどは、発展途上国に暮らす小規模農家で、いくらコットンを生産しても安く買い叩かれ、わずかな収入しか得ることができません。インドでは、40万人もの児童が農薬に汚染されたコットン畑で強制的に働かされています。

## 【エピソード②】

2013年4月24日、Bangladeshの首都ダッカで縫製工場が崩壊し、1100人以上が亡くなりました。この縫製工場のビル「ラナプラザ」は、もとも4階建ての建物に違法増改築を繰り返し、8階建てにしていました。それだけでも危ういのですが、そこにミシンを大量に置き、縫うときの振動で壁にはヒビが入っていたそうです。

崩壊の当日、従業員たちは建物の中に入らず危険であることを抗議したのですが、工場主は「それなら今月分の給料は払わない」と強制的に従業員を中に入れました。その結果、数千台のミシンが一斉に稼働し、振動によりビルは崩壊しました。

この事故の原因は、従業員を強制的に働かせた工場主だけにあるのでしょうか。企業のオーナーや工場主に仕事を依頼し「納期を守れ」と迫ったのは先進国とされている国に住む私たちです。この事故は、途上国だけの問題ではなく、途上国に生産してもらい買っている側の問題でもあるのです。

◇ 毎日身につけているコットンの衣類が、このような状況で生産されたものだと知ったら、自分の消費に対してもっと関心を持つべきだと思うはずですよ。

コットンを一例に挙げていえば、途上国の小規模農家がオーガニックコットン（農薬や化学肥料を使用しないで栽培さ



れたコットン）を育て、それを買い手が適正な価格で購入することにより、農家の生活改善と自立が支援され、農地の環境も破壊されることがなくなります。

この途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することを通して、経済的立場の弱い途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す仕組みを「フェアトレード」と言います。残念ながら日本での認知度は約3割とまだまだ低い状態です。

## 私たちの行動で社会と未来が変わる

買い物をするとき、みなさんは何を重視して商品を選んでいきますか？価格、機能・品質、安全性と言う人は多いと思いますが、「商品やサービスが環境に与える影響」や「企業の経営方針や社会貢献活動」を意識して商品などを選ぶ人がもっと増えれば、環境や社会がもっと良くなると思いませんか。

日本の経済全体（GDP：国内総生産）

の約6割が家計の支出です。個人の消費が社会に与える影響は、決して小さくありません。何かを「買う」という行動は、作った人や企業に利益を与え、私たちが「環境にいいもの」「人を傷つけないもの」を選べば、それを作った人や企業は継続・発展します。「環境によくないもの」「人を傷つけるもの」を選択しなければ、それらの商品と作った企業はいずれなくなります。そうすれば、農薬に汚染されたコットン畑で強制労働をさせられる児童は減り、また、縫製工場ビルの崩壊事故のような悲劇は起こらなくなるはずです。

## 私たちにできる

### 「エシカル消費」

「エシカル消費」について、何となく分かっていただけでしょうか。あまり馴染みのない言葉ですが、簡単な覚え方を紹介します。

「E」影響を

「S」しっかりと

「C」考える

エシカルのEは「影響を」、エシカルのSは「しっかりと」、エシカルのCは「考える」という覚え方です。

まずは、私たち消費者が力の大きさを認識し、「買う」という行為をしっかりと考えて行うことが大切です。毎日の消費行動は決して個人的な行為ではありません

エシカルな商品の参考に

### 認証ラベルやマークの例

**あなたの消費が世界の未来を変える!?**  
**私たちにできる エシカル消費**

エシカル消費を実践していくうえで、「こうしなければならない」と思うのではなく、「そうした方が幸せ」と思えることが大切です。「未来のために」「社会のために」と思うことも必要ですが、それだけでは義務的に感じられ、いつか続けることに疲れてしまいます。「身近にいる子どもたちのために…」と思うだけでも気持ちは変わってきますが、まず「自分が幸せ」であるかを考えてみてください。

例えば、「自分の幸せ」のために、美味しいチョコが食べたいから「カカオを作っている人にちゃんとお金がいくようにする」。エシカル消費を実践する理由は、そういう単純なことではないのでしょうか。

誰でも「あの頃は良かったな（今は良くない）」と思いながら最期を迎えるよりも、今このときに幸せを感じていたいと思うはず。そう思えるようになるには、今より未来はもっと良くなっている必要があるのです。エシカル消費を「やらなければならないこと」とは思わずに、まずは自分がのびのびと、後ろめたくなく幸せでいられるためには何ができるのかを考えてみましょう。それが、地球の自然や、商品を作る人、売る人、買う人、みんなが幸せになれる未来につながる第一歩となります。

まずは、「エシカル消費」という言葉を知ってください。そして、「こんな話聞いたことあるな」と、商品やサービスを選ぶときの考え方の一つとして、エシカルな視点を取り入れてみてください。あなたの消費が世界の未来を変えるのです…。

<p>エコマーク</p>  <p>「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められたもの</p>	<p>FSC認証</p>  <p>適切に管理された森林からの木材・木材製品であると認められたもの</p>	<p>RSPO認証</p>  <p>熱帯林の保全、生息生物の多様性、人々の暮らしに深刻な悪影響を及ぼさない適切な農園管理で生産されたパーム油であることを示すもの</p>
<p>レインフォレスト・アライアンス認証</p>  <p>熱帯雨林で生産されるコーヒー、カカオ、バナナなどの農産物を対象に、地球環境や動植物への配慮がされていることを認めるもの</p>	<p>有機JAS認証</p>  <p>認定機関名</p> <p>農業や化学肥料などの化学物質に頼らず、自然界の力で生産された食品を示すもの</p>	<p>MSC認証</p>  <p>持続可能で、環境に配慮した漁業により獲られた水産物であることを示すもの</p>
<p>GOTS認証</p>  <p>オーガニックコットンであると同時に、加工過程でも環境負担の少ない方法がとられていることを証明するもの</p>	<p>国際フェアトレード認証</p>  <p>開発途上国の生産者への適正価格の保証や、人権・環境に配慮した基準が守られていることを示すもの</p>	<p>とちぎのEマーク食品</p>  <p>栃木県産の農畜産物を原料に、県内の食品加工業者がこだわりのもって加工した優れた食品として認めたもの</p>

- ✓ 日々の暮らしの中で、次のひとつでも実践していることはありませんか。
- ✓ エコバックを持参して、無駄な包装は断る
- ✓ すぐ消費するものは、できるだけ消費期限・賞味期限が近い商品を購入する
- ✓ 長寿命でエネルギー効率の良いLED電球を選ぶ
- ✓ 太陽光パネルのついた省エネ住宅に住む
- ✓ 燃費の良いエコカーを購入する
- ✓ 風評被害にあっている地域の農産物を購入する
- ✓ 地元の農家から、直接オーガニック野菜を購入する
- ✓ フェアトレードと呼ばれる公正な貿易によって適正価格で輸入されたバナナやコーヒー、チョコレート、紅茶などを購入する
- ✓ オーガニックコットンで作られた衣類を着る
- ✓ できる限り地元で作られたものを選んで買う
- ✓ 商品を使い終わった後、捨てる時にルールに沿って分別する
- ✓ 商品に対する「もっとこうなると良いな」といった声を、生産企業や販売店などに伝える
- ✓ 商品を選ぶときに、本当に必要か、品質や成分、労働者の人権、環境に配慮しているか、長く使えるかどうかをよく考える
- ひとつでも当てはまれば、それはみなさんがそれと気づかず実践しているエシカルな消費行動です。



# 川俣市政初の議会 補正予算や条例の制定などを議論

川俣純子市長が就任後初めてとなる平成29年第4回市議会12月定例会が11月30日(木)から12月7日(木)までの8日間の日程で開かれ、平成29年度補正予算や条例の一部改正など16議案が原案どおり可決され、専決処分2件について報告しました。また、継続審査となっていた陳情書1件が不採択となったほか、栃木県後期高齢者医療広域連合協議会議員の選挙が行われました。詳しくは、議会事務局 ☎0287-88-7114までお問い合わせください。

## 人権擁護委員の人事

人権擁護委員の小林洋子氏が平成30年3月31日で任期満了となることに伴い、新たに有坂恭子氏が候補者として推薦しました。

## 栃木県後期高齢者医療 広域連合協議会議員の選挙

任期満了に伴い、栃木県後期高齢者医療広域連合協議会議員の選挙が行われ、川俣純子市長が議員に選出されました。

## 議決事項

・10月に発生した台風21号豪雨の災害により被災した農地・農業用施設の災害復旧を市の事業として施行することとしました。

・「山あげ会館」と「龍門ふるさと民芸館」の指定管理者を平成30年4月1日から35年3月31日まで、(一社)市観光協会に指定することとしました。

・「大金駅前観光交流施設」の指

が多い地域の配水管布設替工事を実施するための設計業務委託料などを501万7千円増額し、2億8513万3千円としました。

## 専決処分を承認

29年度一般会計補正予算について、衆議院議員選挙に係る所要の経費1897万円を増額し、1億4億2808万9千円としました。

## 条例の制定と一部改正

・市総合計画の基本構想を議会の議決を経て策定するために、「市議会の議決すべき事件に関する条例」を制定しました。

・非常勤職員の育児休業について、特別の事情がある場合には例外的に2歳に達するまで休業できるように措置した地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、同法の委任に基づいて具体的な要件を定める等の改正をするた

## 平成29年度補正予算

### ○一般会計

29年度一般会計予算の歳入・歳出をそれぞれ2億4652万6千円増額し、補正後予算総額を1億7461万5千円としました。

主な内容は、鳥山庁舎の屋根が一部剥離し、落下したことに對する応急復旧を行う庁舎整備費2164万4千円、障害児支援事業の利用者増に伴う増額分1606万5千円、保育園入所者の増や給付費の加算項目追加に伴う私立保育施設運営委託事業費5290万8千円、医療扶助費の増額などによる生活保護扶助費2478万円、補助金配当分額の増額に伴う畜産担い手育成総合整備事業費2157万6千円、ふれあいの道づくり事業の施工箇所の増に伴う費用741万2千円、鳥山高等学校遠距離通学費補助金の増額に伴う高等

学校教育振興事業費700万円、10月に発生した台風21号で被災した農地及び農業用施設の復旧を図るための農地・農業施設災害復旧費754万3千円などです。

また、契約満了に伴い30年度以降の新たな契約を進める必要がある「鳥山小学校スクールバス運行業務委託」について、債務負担行為を追加補正しました。

### ○特別会計

国民健康保険の事業勘定は、特定健康診査の受診者が増えたことにより業務委託料を増額するためなどで、歳入・歳出それぞれ121万3千円増額し、4億6967万8千円としました。また、施設勘定については、境診療所及び七合診療所の火災報知機と誘導灯の器具交換に伴う修繕料、手数を31万1千円増額し、7388万1千円としました。熊田診療所は、消防施設などの修繕費や駐車場の

### ○企業会計

水道事業は、水道事業費用について給水管漏水修繕費など680万2千円を増額し、5億332万5千円、資本的支出は、漏水件数

## 烏山ロータリークラブ 中高生制作の「和紙絵馬」を愛宕神社へ奉納

烏山ロータリークラブ(堀江竜也会長)では、12月16日(土)、中高生が描いた「和紙絵馬」を志鳥の愛宕神社へ奉納しました。

市特産の烏山和紙をPRするとともに、地元の学校や生徒との交流を図ることが目的。和紙は、市内で和紙を製造する福田製紙所に提供してもらい、絵は南那須中、烏山中、烏山高の生徒に依頼して、絵馬を作成しました。生徒らは、縦70センチ、横1メートルの和紙に、干支の「戌」や築城600年を迎える烏山城にゆかりのある「八咫鳥」などを描きました。各中学校は1枚、烏山高は2枚を完成させ、計4枚が奉納されました。

奉納式には、同クラブや学校、自治会の関係者ら約30人が出席し、神事を執り行いました。堀江会長は、「今後も学校との連携を図りながら地域を発展させていきたい」と話していました。絵馬を作成した南那須中2年の塩田佳織さん(藤田)は、「和紙に絵を描くのは難しかったが、良い年になるようにと気持ちを込めて丁寧に描いた」と笑顔を見せていました。

絵馬は、参拝客らが見られるように1年間同神社に飾られます。また、同クラブでは、和紙絵馬の奉納を恒例行事として、継続していく予定です。



絵馬を奉納した中学生と堀江会長(左)。

定管理者を平成30年4月1日から35年3月31日まで、(株)アド・ワーカーズに指定することとしました。

### その他

・損害賠償の額の決定及び和解に

関する2件の専決処分について報告しました。  
・市議会議長あてに提出された陳情書「農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる陳情」については、不採択となりました。

## 那須烏山市教育委員会会報

平成29年度『第3四半期』10月～12月

第10回教育委員会(10月20日(金))

○就学指定校の変更を承認

○区域外就学の許可を承認

○要保護及び準要保護児童生徒の認定を承認

○30年度小・中学校等職員定期異動方針を決定

○市指定文化財の指定について市文化財審議会に諮問することを決定

第11回教育委員会(11月17日(金))

○市児童生徒就学援助規則の一部改正を決定

○29年度市教育費予算の補正を決定

第12回教育委員会臨時会(11月30日(木))

○市教育委員会教育長職務代理者(岡崎孝雄氏)の指名を決定

第13回教育委員会(12月15日(金))

○市指定文化財の指定を決定

### ▼その他の出席

・10月7日(土)：南那須中学校学校祭

・10月7日(土)：烏山中学校文化祭

・10月16日(月)：塩谷南那須地区教育委員会連合会定例会・研修会

・10月28日(土)：サタデースクール開校式

・11月8日(水)：栃木県教育委員会連合会研修会

・12月3日(日)：市マラソン大会

・12月12日(火)：中学生海外派遣事業報告会

○12月15日(金)：烏山城跡視察

## 幼稚園・保育園で

# 生活発表会

12月に入り、市内それぞれの幼稚園や保育園では、生活発表会が行われました。4つの園の様子を写真で紹介します。



①



②



③



④

①烏山みどり幼稚園②七合保育園③烏山聖マリア幼稚園④にっこ保育園。

1711人のランナーが快走  
第13回那須烏山

# マラソン大会



12月3日(日)、今年で13回目となった「那須烏山マラソン大会(同実行委員会主催)」が保健福祉センターを発着点に開かれ、全国各地から訪れたマラソン愛好者1711人が冬晴れの那須烏山路を駆け抜けました。

開会式では、金枝好光副実行委員長や来賓からのあいさつが行われたほか、「はるばる来たで賞」の授与が行われ、北は北海道、南は兵庫県といった遠方から訪れたランナー7人に記念品が手渡されました。

その後、ウォーキング、ハーフ、5キロ、3キロ、2キロ、親子マラソンが続々とスタート。それと同時に、那須烏山ふるさと太鼓保

①約550人が参加したハーフマラソン ②那須烏山路を駆け抜けるランナー ③沿道からの声援を受けゴールへ向かう ④毎年大好評の豚汁 ⑤今話題の芸能人も参加…? ⑥親子で手を繋いでゴール ⑦親子マラソンのスタート。

存会による威勢の良い太鼓の演奏がランナーを送り出しました。

また、会場では、毎年恒例の食生活改善推進団体協議会や興野直売所の皆さんにより、「豚汁」約2000食が無料で振る舞われ、ランナーからは、疲れが癒えると好評を博しました。

表彰式では、上位6人に表彰状と那須烏山市の特産品などが送られました。

ハーフ一般男子で優勝を果たした小堀佑真さんは、「中学生の頃から参加している大会で、この大会を通して自分も成長することができた。優勝することができてとても嬉しい」と話していました。

また、一般女子で優勝した木村世奈さんは、「起伏の多いコースだったが、昨年よりもタイムを2分縮めて、1位でゴールすることができた。満足な結果が出て嬉しい」と話していました。

今大会の結果は、左記のとおりです。

# 清掃ボランティアが盛んに行われました！

## ヘルシーアップサークルが感謝を込めてウォーキングコースを清掃

11月17日(金)、ウォーキングで健康づくりに取り組むヘルシーアップサークル(碓氷正和代表)が、ウォーキングトレイルの清掃を行いました。

数年前から毎年1回年末に行っているこの活動。日頃、活動場所としてお世話になっている場所を選び、コースの美化を行っています。当日、保健福祉センターを出発したメンバー10人は、ウォーキングを楽しみながらコース沿いのごみ拾いなどを行いました。

碓氷代表は、「自分たちも含め、ウォーキングをする人がコースを少しでも気持ちよく歩ければ良いと思う」と話していました。



ごみ拾いをするヘルシーアップサークルの皆さん。

## 元田町若衆団を中心に毘沙門山の遊歩道をきれいに！

今年、築城600年を迎える烏山城へ続く遊歩道をきれいにしようと、12月9日(土)、元田町若衆団を中心に、元田町や屋敷町自治会など約40人によって清掃活動が行われました。

当日は、中央1丁目の八雲神社脇から延びる毘沙門山遊歩道を、竹ぼうきや熊手などを使って石段などに積もった落ち葉などを清掃しました。

同若衆団の檜山敏大筆頭世話人は、「きれいな状態を保ち、来城観光客に快適に過ごしてもらいたい。また来年も継続したい」と話していました。



毘沙門山への遊歩道を清掃する元田町若衆団や住民。



## 部門別上位入賞者

### ■2キロコース

【小学5・6年生男子】①金子京平(千葉県)②永井陸翔(三箇)③郡司櫻祐(宇都宮市)

【小学5・6年生女子】①金子奈央(千葉県)②浅野凪咲(小山市)③倉持輝星(宇都宮市)

【親子(幼児～小学2年生)】①深井聡・真生(矢板市)②笠井直也・望愛(宇都宮市)③山田尚人・舜人(宇都宮市)

【親子(小学3・4年生)】①倉持義彦・晴天(宇都宮市)②杉山隆之・康生(那須塩原市)③佐藤信弥・慶人(福島県)

### ■3キロコース

【中学生女子】①袖山日渚(茨城県)②金澤里咲(神長)③内藤瑠奈(小倉)

【一般女子】①川俣日奈子(野上)②猪野愛莉(福岡)③大森沙織(小倉)

【男子全般】①林田祥志(矢板市)新 ②河原蒼(上境)③宮下瞬(芳賀町)

### ■5キロコース

【中学生男子】①安江悠登(埼玉県)②神長好誠(上境)③石川陽太(鴻野山)

【一般男子39歳以下】①渡邊海人(鴻野山)②根元進(福島県)③高野寛(那珂川町)

【一般男子40歳以上】①河和健治(那珂川町)②大辻竹仁(茨城県)③猪野卓也(福岡)

【一般女子39歳以下】①今泉葵歩(神奈川県)②蛭田結衣(さくら市)③木村真希(那須塩原市)

【一般女子40歳以上】①古橋留美(茨城県)②豊田純(芳賀町)③鹿野恭子(東京都)

### ■ハーフマラソン

【一般女子高校生以上】①木村世奈(茨城県)②北島弘美(茨城県)③永倉慶子(福島県)

【一般男子高校生～39歳】①小堀佑真(大里)②佐藤紀樹(福島県)③栗田拓美(市貝町)

【一般男子40～49歳】①大久保幸夫(埼玉県)②佐竹康博(東京都)③室井克彦(小山市)

【一般男子50～59歳】①高坂治彦(福島県)②向井靖明(千葉県)③川崎忠文(大田原市)

【一般男子60歳以上】①渡邊良勝(宇都宮市)②大木己芳(野上)③野村幸広(茨城県)

■ウォーキング…タイム計測なし

※敬称略、「新」は大会新記録

# 健康寿命を延ばそう！ 第6回 介護予防大会

11月29日(水)、市と那須烏山市認知症連携推進協議会(杉浦啓太会長)による、「第6回介護予防大



栃木県消費生活リーダー連絡協議会那須烏山支部による寸劇。

「レイル予防」と題した健康長寿講演会が行われました。フレイルとは、年をとって心身の活力(筋力、認知機能、社会とのつながりなど)が低下した状態のことで、「虚弱」という意味です。神谷さんは、「若い人も、周りの人たちが助け合うことが大切。近所だけでなく、『地域ぐるみ』、『まちぐるみ』でフレイル予防をしましょう」と話していました。

会」が烏山公民館で開かれ、地域住民146人が参加しました。同大会で恒例となった栃木県消費生活リーダー連絡協議会那須烏山支部(萩原宣子代表)による寸劇では、「さあ一緒に外に出よう！認知症予防のために」が披露されました。劇中では、認知症の症状が出始めたときの対処法や、対処をした場合としなかった場合の例、市が行う認知症に関する相談会や講座などが紹介されました。続く講演会では、東京大学高齢社会総合機構特任研究員の神谷哲朗さんを講師に、「那須烏山市で、元気に過ごすために」今こそ、フ



心肺蘇生法などを確認する地域住民。

## 大桶中自治会自主防災会 災害に備えて初の訓練

今年、自主防災会を組織した大桶中自治会では、11月26日(日)、大桶中自治会公民館で、初となる防災訓練を行いました。訓練には、地域住民約50人が参加。市や南那須地区広域行政事務組合消防本部職員を講師に迎え、自動体外式除細動器(AED)や消火器の使い方を確認したほか、煙体験などを行い、災害時の対応を体験しました。同自治会の木村孝会長は、「大桶中自治会自主防災会を組織したことから、家族や財産などを災害から迅速に守ることのできるよう、収穫感謝祭10周年記念事業として、防災訓練を企画した。これを機に、意識を高め、いざというときの判断に困らないよう毎年実施していきたい」と話していました。

## 市女団連が野木町の女性町長を訪問 女性の特性を生かした地域社会を学ぶ

11月10日(金)、那須烏山市女性団体連絡協議会(小堀恵美子代表)による女性研修「みんなの集い」が行われ、協議会のメンバー38人が参加しました。これは男女共同参画社会づくりに関心を持ち、女性の特性を生かした地域社会の推進者としての自覚を高めるために毎年行われているものです。

長が女性としてクリーンな町政を目指して行っている町政運営や、主婦としての一面も垣間見られる内容で、終始和気あいあいとした雰囲気になりました。真瀬町長は、「那須烏山市は、同じく女性首長の自治体であり共通点も多いので、これから情報交換を密にして互いに手を携えて町づくりを推進していきましょう」と話していました。

今年、野木町交流センターで野木町の真瀬宏子町長を講師に、「野木町男女共同参画宣言について」というテーマで研修会が行われました。講話の中では、町

また、当日は、快晴の秋空のもと、野木町煉瓦館の見学や問々田組紐体験なども行われ、有意義な時間となりました。



野木町で行った研修会に参加した那須烏山市女性団体連絡協議会の皆さん。

## 市内で12か所目となる「ふれあいの里」 屋敷ふれあいの里が開所！

高齢者ふれあいの里事業の12か所目として、今年度8月に「屋敷ふれあいの里」が開所しました。

ふれあいの里とは、地域に住む高齢者と地域の人たちが交流することで、閉じこもりや認知症・要介護状態となるのを予防するための取り組みです。活動としては、体操をしたり、ゲームや歌を歌ったりと、レクリエーションを中心に、交流を深めながら高齢者の居場所づくりを行っています。

今回開所した屋敷ふれあいの里は、毎週金曜日、健康管理センターを会場に午前10時～11時30分まで開催しています。

同ふれあいの里代表で屋敷自治会長の佐藤恭二さんは、「那須烏山市の高齢化率や高齢者の現状を知り、自分たちの自治会でも何かできないかと思い、ふれあいの里を開所した。これを機に地域でお年寄りを見守る体制を作っていきたい」と話していました。



今年度8月に開所した「屋敷ふれあいの里」。

高齢化が進む中、ふれあいの里やサロンなど身近な場所での「集いの場」は今後ますます重要となります。地域包括支援センターでは市内全域に「集いの場」ができるよう支援しています。

あなたの地域でも、ふれあいの里を開いてみませんか？

■問合せ 地域支援包括センター（健康福祉課内）

☎0287-88-7115

## 地域の自主サロンが 今、話題です！

市では、お年寄りの閉じこもり防止や認知症予防などを目的に、地域で「いきいきサロン」や「ふれあいの里」の開設に取り組んでいます。しかし、中には、何かしらの理由により会場まで自力で行くことができないお年寄りもいます。そんなお年寄りを地域で見守ろうと、自宅などを開放し、自主的にサロンを開いている地域があります。そこで、今、話題となっている2つの自主サロンを紹介します。

■問合せ 健康福祉課 ☎0287-88-7115

### ○滝田 仲良しクラブ

「仲良しクラブ」は、毎月最終水曜日に滝田の荒井初江さん宅で開かれています。以前から近所のお年寄りたちがお茶飲みに来ているという荒井さん宅。民生委員の大谷幸子さんが、「サロン会場まで来ることができないお年寄りをもっと身近な場所で見てあげたい」と悩んでいるときに、荒井さんから講話をしてほしいと頼まれたことがサロンを開くきっかけでした。

平成26年12月から定期的に講話などを行うようになり、翌年8月からは月1回に回数を増やし、「インフルエンザ」や「防災」など季節に合ったテーマで講話を行ったり運動をしたりしています。現在、10人前後で活動をしています。



レクリエーションをする仲良しクラブの皆さん。

### ○谷浅見 ご近所さん

「気軽にお茶飲みができる場所があったらいいな」と、ヘルパーの資格を持つ五月女佳子さんと、ケアマネジャーの仕事をしている娘の浜井弥生さんが平成28年6月から始めた「ご近所さん」。谷浅見の五月女さん宅の離れを利用し、毎週水曜日に開かれています。12月1日現在で、70回以上開催され、お年寄りの憩いの場となっています。

現在は、近所のお年寄り6人が利用しており、レクリエーションのほか、七夕、敬老会といったイベントの開催、ドライブなど外へ出る機会を作り、お年寄り同士の交流を深めています。

参加費は1回100円。谷浅見自治会以外でも参加可能です。



手芸を楽しむご近所さんの皆さん。

# 初の山あげ俳句全国大会を開催

那須烏山市山あげ俳句全国大会（同実行委員会主催）が、11月26日（日）、烏山公民館で開かれ、県内外から約150人が参加しました。

この大会は、平成28年12月に「烏山の山あげ行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念し、「山あげ」を季語として全国的な定着を図ることなどを目

的に初めて開かれたもので、俳句誌「こだち」編集者の齋藤穂さんを実行委員長に、そのメンバーなどが中心となって企画しました。

開会式では、齋藤実行委員長が、「山あげ」という言葉が季語として全国で認知され、歳時記に登録されることを願っている」とあいさつしました。

その後、応募されてきた自由題と、当日の席題「山あげ」「祭り」の2題に投じられた句の講評が黒田杏子さんから4人の選者によって行われました。自由題には、全国554人から2244句、席題には119句が投じられました。応募の中には、僧侶で作家の瀬戸内寂聴さんから投句されたものもあり、実行委員長賞に輝くなど、会場を沸かせました。

昼食時には、烏山体育館で烏山中学校郷土芸能部によるお囃子はやしの演奏や烏山語りの会による民話の語りが行われ、来場者を楽しませました。

上位入賞作品は、下記のとおりです。



①



③



②



④

①4人の選者による講評 ②主催者の齋藤さんによるあいさつ ③優秀な作品を表彰 ④コーヒーの販売をする市民カフェ35番館の皆さん。



昼食時に行われたアトラクション（上：烏山中郷土芸能部によるお囃子の演奏／下：烏山語りの会による民話の語り）。

## 俳句大会上位入賞者

### 「自由題」推薦

○黒田杏子 選 「山あげ俳句大会実行委員長賞」

けさ秋のわれ行き過ぎぬ寒あしなえぬ

瀬戸内寂聴（京都府）

○今瀬剛一 選 「俳句こだち社賞」

簸川ひのかわの大蛇撃たれて祭り果つ

木田實祢（大田原市）

○山崎聰 選 「朝日新聞社賞」

純粹の張っている夏祭り

あざみ精（埼玉県）

○速水峰郎 選 「下野新聞社賞」

山彦が打つ山揚のふれ太鼓

最東峰（那須烏山市）

### 「席題」推薦

○黒田杏子 選 「那須烏山市長賞」

ユネスコの棘いばらを踏みて山あがる

田中久子（那須烏山市）

○今瀬剛一 選 「那須烏山市教育長賞」

蛇姫の黒髪ゆたか祭笛

照内カツ子（宇都宮市）

○山崎聰 選 「読売新聞社賞」

祭り明け母はひとりに戻りけり

井上薫子（大田原市）

○速水峰郎 選 「栃木県俳句作家協会賞」

山あげや主役の鬼女は女子高生

井上千代（宇都宮市）

たくさんの名句が誕生したよ！





△好評を博したラフティング体験。  
▶しし鍋に舌鼓を打つ子どもたち。



国土交通省が那珂川上流区間の管理を開始して50年を迎えたことを記念し、那珂川の豊かな自然と河川防災の大切さを再認識してもらおうと、「なすから秋の川まつり(同まつり実行委員会主催、国

## なすから秋の川まつり 那珂川の魅力を再認識

国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所共催」が11月25日(土)に宮原の観光やな「ひのきや」周辺で開かれ、地域住民など約1千人が訪れ、那珂川の魅力に触れました。

ラフティングや化石発掘体験、竹ランタン作りなどのレクリエーション体験が行われたほか、郷土食味わいコーナーでは、しし肉を使った「しし鍋」や「ワイルドポアカレー」などが無料で提供され、来場者をもてなしました。また、防災啓発には、災害対策車両の展示や防災対応ゲーム、那珂川の治水事業を表現したプロジェクトショムマッピングが上映されました。



上:川の中の生物を観察。

下:防災について話し合いが行われた防災対応ゲーム。

## 地域おこし協力隊と行く!

# サテライト田舎づくりツアー

11月25日(土)、26日(日)、那須烏山市地域おこし協力隊による「サテライト田舎づくり」が開催されました。これは、着任して1年を迎える3人の地域おこし協力隊とともに、地域住民とつながりをつくることを目的に開かれたローカルの課題と魅力に触れる1泊2日のツアーです。

25日は、まちなかフィールドワークをテーマに、山あげ祭や烏山和紙の成り立ち、地酒と地域の結びつきなど観光産業の現状と課題についての説明を受け、山あげ烏章館、烏山和紙会館、洞窟酒蔵

を見学しました。また、宿泊場所となったほたるの里の古民家おおぎすでは、古民家の管理などをする「里山大木須を愛する会」の取り組みについて聞き取りをし、地域住民との交流を図りました。

26日は、「ローカルメディア作り」、「まちとの接点作り」、「食資源の再発見・利活用」の3グループに分かれ、フィールドワークを行いました。参加者は、まちづくり仕掛け人へのインタビューやミカン狩り体験などを行い、地域住民との交流を深めました。協力隊の榎本真紀子さんは、「人



烏山和紙会館を見学する参加者と地域おこし協力隊の皆さん。

を通して那須烏山市をもっと知ってもらいたい」と話していました。また、東京都から参加した中村恵大さんは、「まちを盛り上げようと積極的に活動している人々の話を聞き、自分自身も前向きになれた」と話していました。

## シリーズ 市の文化財 第81回



市指定有形文化財(彫刻)  
木造 毘沙門天立像  
両脇侍像(中央)

左に吉祥天(像高:31cm)、右に善膩師童子(像高:約29cm)を従えた三尊形式の毘沙門天像(像高:52cm)です。材質は桧材で寄木造り、装飾性も高く、岩座の上に三尊がバランス良く配置され、特に、邪鬼を踏みつけ憤怒の表情で正面を見据える毘沙門天は見事です。制作年代は、江戸時代中期頃で中央仏師の作品と推測されます。

安政2年(1855)10月、烏山藩主大久保忠美が、城下の繁栄を祈願し日光より勧請したと毘沙門山頂の碑文に記されており、奉納由来が具体的に分かる仏像として、歴史的にも貴重です。

# 第55回 栃木県統計大会

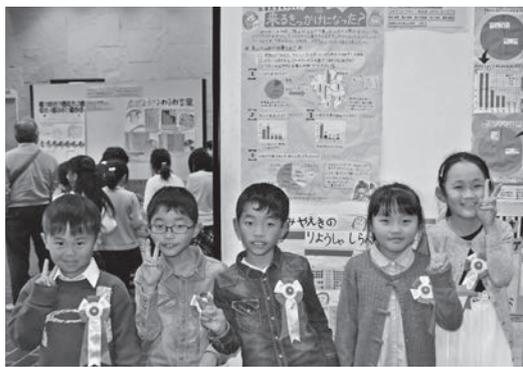
## 統計グラフコンクールで知事、大臣表彰も

第55回栃木県統計大会が、12月11日(月)、県総合文化センターで開かれ、統計グラフ栃木県コンクールの入賞者や、永年にわたり統計事務に従事した統計関係者らの表彰が行われました。

今回、本市から表彰された皆さんを紹介します。

### ■グラフコンクール

鳥山小学校2年の満田紘輝さん(南1丁目)、菅谷珂奈絵さん(南1丁目)、宗片涼音さん(南1丁目)、



全国大会で入選した鳥山小2年生の皆さん(左から、渥美さん、満田(航)さん、満田(紘)さん、菅谷さん、宗片さん)。

渥美唯翔さん(旭1丁目)が制作した作品「ユネスコとうろく!来るきっかけになった?」が、統計グラフコンクール小学1年生〜2年生の部で特選に選ばれ、全国大会でも入選しました。

ユネスコ無形文化遺産になった山あげ祭にどんなお客さんが来ているか気になり、今年のお客さんが来て期間中に会場や電車の中で自ら声をかけ、アンケート調査を行ったという5人。「アンケートを取るときはとても緊張したけれど、グラフ作成では楽しくできました。来年もやろうと皆で約束している」と話していました。

同じく、統計グラフコンクール中学生の部で、鳥山中学校1年の満田郁花さん(南1丁目)の作品「私達にもできる犬猫にもっと幸せの社会へ」が知事特別賞と特選を受賞しました。

作品は、犬や猫の殺処分についての現状を題材としたもの。満田さんは、「以前から殺処分には反対する気持ちがあり、調査をしてみた。グラフは、見る人に分かりやすく、伝わりやすいグラフにな

るよう工夫した」と話していました。

### ■統計調査の表彰

永年にわたり統計事務に従事し、優秀な成績を収めたとして、統計調査員の五味洵隆行さん(興野)と齋藤恵子さん(滝)が栃木県知事表彰、板橋由美さん(大沢)が栃木県統計協会名誉会長表彰を受賞しました。

また、毎月勤労統計調査に協力したとして、社会福祉法人大和久福祉会が厚生労働大臣表彰を受賞しました。

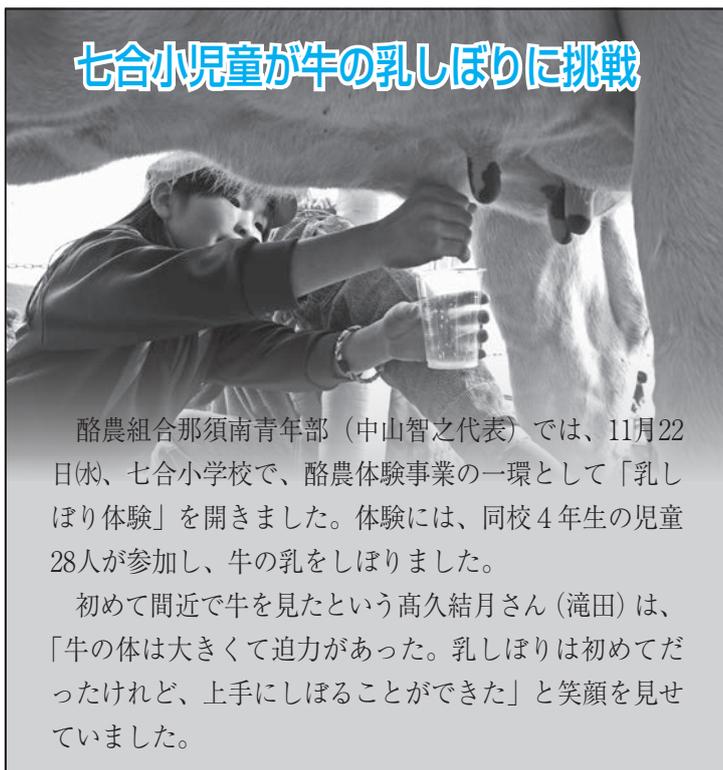
## 市民主体のまちづくりってなんだろう講座

まちづくりなすから塾(赤羽幸雄代表)による「まちづくりってなんだろう講座」が12月1日(金)に南那須公民館で開かれ、地域住民など約20人が参加しました。

この講座は、今年度、公民館講座で「まちづくり」をテーマに開催していた講座に参加していた有志によって開かれたものです。

初回となったこの日は、(一社)とちぎ市民協働研究会の廣瀬隆人代表理事を講師に、「まちはいつ

## 七合小児童が牛の乳しぼりに挑戦



酪農組合那須南青年部(中山智之代表)では、11月22日(水)、七合小学校で、酪農体験事業の一環として「乳しぼり体験」を開きました。体験には、同校4年生の児童28人が参加し、牛の乳をしぼりました。

初めて間近で牛を見たという高久結月さん(滝田)は、「牛の体は大きくて迫力があつた。乳しぼりは初めてだったけれど、上手にしぼることができた」と笑顔を見せていました。



商店街の活性化などの事例が紹介された第1回目の講座。

けんこうコラム⑩ なんぼでも★Let's <sup>けん かつ</sup> 健活

「かぜ」と「インフルエンザ」の違いってなんだろう？

かぜ

- ・鼻やのどの痛みなどの部分的な症状
- ・1年を通してひく可能性あり

インフルエンザ

- ・突然の38℃以上の発熱、せき、のどの痛み、全身のだるさや関節痛などの全身症状
- ・1～2月がピーク ※例外もあり

インフルエンザにかかったら…

- ・早めに医療機関に行き、医師の指示に従いましょう。
- ・引き続き、「感染症予防の6か条」(右記)を実践しましょう！

※熱が下がったと見極める目安は、平熱が1日続くことです。

～こどもインフルエンザ助成のお知らせ～

平成29年10月から、こどもインフルエンザ助成が始まりました。対象は1歳～中学3年生です。詳しくは、こども課 ☎0287-88-7116までお問い合わせください。

感染症予防の6か条

- ①手洗い・うがいを徹底！
- ②十分な栄養と睡眠で抵抗力UP！
- ③外出時にはマスク着用！
- ④湿度を保ち、適度に空気の入換えを！  
↓+α(ノロウイルス対策)↓
- ⑤おう吐物の処理に注意！
- ⑥食品を十分に加熱！  
※二枚貝(カキなど)には要注意！！



6か条を守って  
今年も元気に  
過ごしましょう！

～母子保健グループ 保健師・看護師・管理栄養士より～

消費者コラム⑩

消費者ほっと♥らいふナビ

平成28年12月1日に衣類の洗濯表示が変わり、1年が経ちました。皆さんがお持ちの衣類も、新しい洗濯表示のものが増えてきたのではないのでしょうか。新しい洗濯表示について、改めて確認してみましょう。

【5つの基本記号と付加記号の組み合わせで表示されます】

基本記号				
洗濯 	漂白 	乾燥 	アイロン 	クリーニング 
〈強さ〉		〈温度〉		〈禁止〉
線なし — = 通常 弱い 非常に弱い		・ ∙ ∙ ∙ 低い ← → 高い		×
表示例				
 液温は40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる	 日陰の平干しがよい	 底面温度200℃を限度として、アイロン仕上げができる	 石油系溶剤によるドライクリーニングができる	

※新しい洗濯表示について、詳しくは消費者庁ホームページをご参照ください。

【長く着るためのポイント】

- ①しっかりと手入れしないと汚れが蓄積して生地の変色、変色、虫食い、カビなどの危険性が高まります。常識的な範囲で、きちんとお洗濯しましょう。
- ②お気に入りでも毎日着るのは控えましょう。1日着たら2日休ませるのがよいとされています。
- ③洗浄力が高い粉末洗剤は汚れ落ちがいい反面、色落ちの危険性も高まります。軽い汚れしか付着していないなら、洗浄力を抑えたデリケート衣類用の中性洗剤を使うのもよいでしょう。



洗濯表示は、衣類を購入する際に確認する必要がありますし、洗濯を行う際にも必要な情報です。また、衣類を傷めず汚れをしっかりと落とすには、繊維の種類によって洗剤や洗い方を変えることが大切です。お気に入りの衣類を長く愛用するためにも、新しい洗濯表示をしっかり覚えておきましょう。

那須烏山市消費生活センター(烏山庁舎1階、商工観光課内)

【専用電話番号】0287-83-1014

【受付時間】平日9:00～12:00、13:00～16:30

※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン☎188(局番なし)」へご相談ください。

# 地元産のそば粉を ふんだんに使った そばまつり盛んに

## ■大木須新そばまつり

11月19日(日)、里山大木須を愛する会(堀江一慰代表)による「大木須新そばまつり」が、大木須のオオムラサキ公園で開かれ、市内外から約1千人が訪れました。

今年で24回目となった大木須のそばまつり。例年、1千人近くの人が名物の「けんちんそば」や大木須特製「焼きおにぎり」、「芋串」などを求め、市内はも

とより市外からも大勢の人が足を運びます。

今回からは、そばのほか、地域おこし団体「クロスアクシヨン」の協力で、新たに4団体が参加し、地ビールやからあげ、カレーなどが販売されました。

また、烏山中学校の郷土芸能部によるお囃子はやしの演奏が行われ、笛や太鼓の躍動感あふれるリズムで来場者を楽しませました。

## ■神長そば祭り

神長そば祭り実行委員会(大森金一委員長)による「第6回神長そばまつり」が、11月18日(土)に神長公民館で開かれました。

6回目となった今年は、同日、どうくつ酒蔵で行われていた近代化遺産イベントと同時開催で行われ、地域住民やイベントに訪れた人々など約500人でにぎわいました。

会場では、野菜をふんだんに使った「けんちんそば」や「もりそば」のほか、地元で採れた新鮮野菜、介護施設で作られた小物などが販売されました。



①けんちんそばに長蛇の列②そばの他にもにぎわいを見せた販売ブース(大木須新そばまつり)／③そばの味を堪能する地域住民④大鍋で作られるけんちん汁(神長そば祭り)。



# まちのわだ い

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計グループ ☎0287-83-1112

## 横枕青年団プレゼンツ！ 婚活イベントで2組のカップル成立

横枕青年団(生魚貴宏団長)による「お笑い婚活パーティー」が市結婚相談所と共催で横枕文化伝承センターを会場に開かれ、市内外の男女28人が参加しました。遠方からは、神奈川県からの参加もあり、盛り上がりを見せました。

同青年団による婚活イベントは、今年で3回目。今年は、よしもとクリエイティブエージェンシー所属のお笑い芸人「GO-皆川」「ヨッシャ比留間」「上



ゲームの説明をする芸人やスタッフ。

平野ハナさん、奥畑イシさん 満100歳おめでとうバースデーおめでとう！

12月8日(金)に誕生日を迎えたのは、平野ハナさん(向田)。現在は、市内の介護施設で過ごしており、当日には、施設を利用する仲間や家族に囲まれながら100歳を祝いました。

以前は、編み物やご詠歌が得意でよく披露していたとか。最



平野さん。

近は、仲間と会話をしたり、歌を歌ったりして過ごしています。

また、施設で開かれる運動会や敬老会などの行事にも積極的に参加し、交流を深めています。

長寿の秘訣を聞くと、「寝たきりにならず、なんでも自分でやること」と話していました。

9日(土)は、奥畑イシさん(向田)が100歳を迎えました。

普段、天気の良い日には外へ出たり、週2回デイサービスに行ったりして過ごしています。川俣市長が訪問した日には、

18歳で茂木町から嫁いできた当時、義祖母の丸鬚まるまげを結ったエピソードも話してくれました。



奥畑さん。

子5人、孫10人、ひ孫12人に囲まれる奥畑さんは、「長生きできるのも先祖や家族の支えがあるから。感謝している」と笑顔を見せていました。

女性の活躍の場を……子育て中のママによるマママルシェ開催

11月19日(日)、山あげ会館前芝生で「マママルシェ」が開かれ、親子連れなど約120人が訪れました。

このマルシェは、女性が輝ける場所を形にしようと、市内でヨガ教室を開いている国際ヨガ協会サブトレーナーの澤田直美さんが、教室に通う子育て中の女性などに声をかけて実現したもの。9月には高根沢町でマママルシェが開か

れ、話題を呼んでいます。

「子連れで来られるマルシェ」をテーマに、当日は、子育て中の女性を中心に、ハンドメイド雑貨やワークショップ、飲食関係の9つの店舗が出店され、にぎわいを見せました。

企画をした澤田さんは、「開催できたのも協力してくれた大勢の人のおかげ。今後は、南那須地区でも開催したい」と話していました。

原「ヨー」が盛り上げ役として登場し、参加者と一緒にジェスチャーゲームなどをして交流を深めました。また、昼食には、地元で採れた食材を使ったパスタなどが振舞われ、美味しい料理を囲み会話を楽しみました。最後のカップル発表では、2組が誕生し、参加者から祝福されました。

共催となった市結婚相談所の川堀治所長は、「これからも青

年団の若い新しい視点で結婚相談所の事業を盛り上げてほしい」と話していました。

同青年団では、10月20日(金)、新潟県で行われた「第17回新潟県社会教育研究大会阿賀野大会」に講師として招待され、青年団活動を紹介しました。「地域で子どもたちを育てる」をテーマにしたイベントの開催や活動が高く評価されました。

通学路の坂道の手すりをきれいに！

学童野球の児童がボランティア

学童野球チーム「那須烏山クラブスポーツ少年団」(大和勝夫代表)が、12月10日(日)、ボランティア活動の一環として、烏山小の通学路に使われている愛宕坂と六月坂の手すりのペンキ塗りを6年ぶりに行いました。

手すりは、クラブに所属する子どもたちや保護者など60人の手によって、防犯にもつながる青色のペンキで塗られました。

大和代表は、「地域貢献活動をしながら、子どもたちの育成もしていきたい」と話していました。また、烏山小5年の石毛虹晴さん(向田)は、「さびていた手すりがきれいに生まれ変



手すりにペンキを塗る児童。

わり、気持ちがいい。みんなと協力して塗ることができて良かった」と笑顔を見せていました。

# おめでとう

赤ちゃん名 (保護者) 住 所  
 小池 想 奈 (達也・夏奈) 金井2丁目  
 高堀 心 翔 (和之・梨華) 興 野  
 櫻井 美 陽 (克彦・美紀子) 鴻野山  
 長谷川 陽 菜 (祐太・亜実) 滝 田  
 福田 侑 世 (雅利・真弓) 大 金  
 小田 夢 斗 (魁・美咲) 金井2丁目  
 大野 み の り (凜太郎・薫) 神 長

# スポーツの結果

●第36回関東・甲信越国際剛柔公道会  
 空手道選手権大会(11月5日(日)、古河市体育館)  
 「小学1年男子組手の部」▽準優勝：齋藤陽(白雲会空手道) 「小学3～4年女子組手の部」▽第3位：荒井亜美(白雲会空手道)

●第5回那須烏山市ソフトボールフェスティバル(11月11日(土)、30日(月)、緑地運動公園)  
 ▼優勝：県道2222 ▼準優勝：志鳥スワンス

●JKFan杯第14回武蔵国空手道親睦大会(11月12日(日)、アスカル幸手)  
 「小学4年女子組手」▽優勝：大輪莉央(白雲会空手道) 「小学2年女子組手」▽第3位：荒井萌維(白雲会空手道)

●第2回栃木県神社庁南那須支部長杯剣道錬成大会(11月12日(日)、那須烏山市武道館)  
 「団体小学4年生以下の部」▽優勝：宏倫剣道スポーツ少年団 ▼第3位：烏山剣道スポーツ少年団 「団体小学5年生

以上の部」▽優勝：宏倫剣道スポーツ少年団A ▼第3位：烏山剣道スポーツ少年団 「団体中学生の部」▽優勝：南那須中学校A ▼準優勝：烏山中学校A 「個人小学2年生以下の部」▽第3位：新井琢仁(烏山剣道、笹沼成美(宏倫剣道) 「個人小学3～4年生の部」▽優勝：小森咲芽(烏山剣道) ▼第3位：小西勇太(宏倫剣道)、渡邊錬(宏倫剣道) 「個人小学5～6年生の部」▽優勝：鈴木佳実(宏倫剣道) ▼第3位：高野裕翔(烏山剣道、沖村愛希(宏倫剣道) 「個人中学生男子の部」▽優勝：小池優太郎(南那須中) ▼準優勝：相ヶ瀬快(南那須中) ▼第3位：小森稜太(烏山中) 「個人中学生女子の部」▽準優勝：高野未来(烏山中) ▼第3位：大鐘友里菜(烏山中)、高橋幸奈(烏山中)

●第12回市民剣道祭(11月18日(土)、那須烏山市武道館)  
 「小学2年生以下の部」▽優勝：笠井雄斗(烏山剣道) ▼準優勝：二藤部權理(烏山剣道) ▼第3位：土居明夫(宏倫剣道) 「小学3～4年生の部」▽優勝：小森咲芽(烏山剣道) ▼準優勝：小西勇太(宏倫剣道) ▼第3位：渡邊錬(宏倫剣道) 「小学5～6年生の部」▽優勝：鈴木佳実(宏倫剣道) ▼準優勝：沖村愛希(宏倫剣道) ▼第3位：高野裕翔(烏山剣道) 「中学生男子の部」▽優勝：小池優太郎(南那須中) ▼準優勝：谷田龍心(南那須中) ▼第3位：益子大輝(烏山中)

「中学生女子の部」▽優勝：高野未来(烏山中) ▼準優勝：山口舞由(烏山中) 「一般の部」▽優勝：相ヶ瀬仁志(東京)

# 第33回四倉町少年空手道演武大会

(11月19日(日)クリナップ井上記念体育館)  
 「小学3年生男子組手」▽第3位：寺澤聖心(南那須空手道、五十嵐大夢(南那須空手道) 「小学5年生女子組手」▽準優勝：五十嵐未来(南那須空手道) 「小学5年生男子組手」▽優勝：平野真広(南那須空手道) ▼第3位：平野瑛士(南那須空手道)

# 第28回天板市空手道連盟選手権大会

(11月23日(木)矢板市体育館)  
 「小学3～4年組手の部」▽準優勝：五十嵐大夢(南那須空手道)

# 第8回南那須地区小学生ミニバスケットボール大会

(11月26日(日)、烏山小体育館)  
 ▼優勝：烏山LITTLE DIPPER RSスポーツ少年団

# ふるさと応援寄付金

小野正人様(千葉県柏市)、池田晃志様(山形県山形市)からそれぞれ5千円、知久奈穂子様(小山市)、福田栄二様(神奈川県横浜市)、平野匡道様(埼玉県さいたま市)、金子浩様(東京都杉並区)からそれぞれ1万円、門真人様(千葉県柏市)から3万円、後藤英勝様(埼玉県鴻巣市)から5万円、奥茂敬恭様(神奈川県横浜市)から6万円、廣井善三郎様(千葉県習志野市)から10万円、匿名希望者様45人から合計68万5千円が本市に寄附されました。

# 編集後記

○あけましておめでとうございませう。今年の干支は、戌(いぬ)ということで表紙もそれっぽく……！友人のご夫婦に協力してもらい撮影することができました。この場をお借りして……ありがとうございます！

○表紙といえば、12月号のミカン狩りの表紙写真。これを見た夢の国が大好きな広報担当Oさんが、「あー！！隠れミッソーがいる！！」と言っていました。そりゃミカン丸いし3つそろえばそうなるでしょー！と思って見てみたら「本当だ……と納得。みなさんの中にも気付いた方はいたでしょうか？気付かなかった方はもう一度見てみてください(笑)

○それはさておき、今月号の特集は「エシカル消費をテーマに取り上げてみました。あまり馴染みのない言葉かと思えます。私も消費生活センターの担当者から聞いたときは、「なんですかそれ？？」といった感じでした(汗)。でも、意外と気付かずやっていることも多くてビックリ。これを機にみなさんも購入する時の判断材料の一つとして実践してみたいかがでしょうか？



# Information

# 新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204  
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます★  
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

2017.12.1現在  
 ( )対前月比

人口 26,139(-38)

男 12,931 女 13,208  
 出生 9 死亡 37  
 転入 56 転出 66

世帯数 9,410



※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

## ★一般図書★

- 『マンガでわかる人工知能』 三宅 陽一郎  
 『頭がよくなる子どもとの遊びかた』 小川 大介  
 『痛みを取りたいければ体を温めなさい』 今野 孝彦  
 『103歳。どこを向いても年下ばかり』 笹本 恒子  
 『英検3級でもどうにかなる英会話』 Ms. Kinako  
 『男と女の理不尽な愉しみ』 林 真理子  
 『遺言。』 養老 孟司  
 『北の空と雲と』 椎名 誠  
 『奔流恐るるにたらず』 逢坂 剛  
 『カネと共に去りぬ』 久坂部 羊  
 『インフルエンス』 近藤 史恵  
 『駐在日記』 小路 幸也

## ★児童図書★

- 『髪がっなく物語』 別司 芳子  
 『空想科学学園 突撃!人のからだ編』 柳田 理科雄  
 『いきものがっかり超能力図鑑』 川嶋 隆義  
 『サバンナを脱出せよ』 トレイシー ターナー  
 『まほろ姫とにじ色の水晶玉』 なかがわ ちひろ  
 『3つのまほう』 間所 ひさこ  
 『ホカリさんのゆうびんはいたつ』 はせがわ さとみ  
 『ペンギンホテル』 牛窪 良太  
 『なずくこのっぺ?』 カーソン エリス  
 『たぬきがのつたらへんしんでんしゃ』 田中 友佳子  
 『さあ、なげますよ』 角野 栄子

## 文芸コーナー

### 俳句

水野 信一 選

大根引く我に卒寿の活気あり

栗 トク(小倉)

故郷の豊饒の幸今年米

高徳 美井(大金)

木枯や入居募集の旗の音

塩坂美枝子(南大和久)

神の留守八雲神社に燥ぐ児等

伊東 澄子(中央)

### 川柳

篠崎 酔月 選

真子さまの理想のご縁お目出たい

荻野目香津(中央)

粋ですね瓜実顔のいい女

早津 悦子(野上)

負け戦帽子で汗と涙拭き

森 豊(中山)

筋トレで自慢している力瘤

吉澤 恒子(落合)

### 短歌

福澤 悦子 選

太陽の光に透きて一瞬をもみじ葉の色鮮やかに映ゆ

安藤 伯麗(旭)

正月を三日前にして世を去りし友の面影眼裏はなれず

矢口 玄鳥(大金)

たわいなき諍い果ててラジオより聞こゆる懐メロに心休まる

川俣登志子(旭)

母のいる施設の祭りあたたかく車椅子押し思

古内 晴代(金井)

### 作品集

毎月10日までに、総合政策課広報統計グループ(〒321-0692 那須烏山市中央1丁目1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

## 烏山信用金庫

### 烏山城築城600年

#### 記念カレンダーを作製

市と包括連携協定を結ぶ烏山信用金庫が、地域貢献活動の一環として、烏山城の築城600年を記念した2018年カレンダーを1万部作製しました。

カレンダーはA2版サイズで、上段には那須氏によって築城された応永25年(1418)当時の烏山城の地図と城跡の石垣の写真、烏山城の歴史などの紹介が掲載されています。

本支店12か所のロビーに置かれ、来店者などに無料で配布されました。

同信金では、「烏山城の築城600年を知ってもらおう」とともに、那須烏山市のPRにつながる「ば」と話していました。



築城600年を記念したカレンダー。

## 書道部

鳥山高校の部活動等で頑張る生徒を紹介してきましたが、来月号からは、今年度から始まった「鳥山学」について3号連続で紹介していきます。



11人が所属する書道部は、週3回書道室で活動をしています。主な活動内容は、古典の法帖を傍らに置き、それを見ながらその字形や筆使いを真似て書く「臨書」を中心に、個人のレベルアップを図っています。

昨年の高等学校書道展では、鳥山高校書道部から佳作1人、書初展で特賞に3人が選ばれるなどの成績を収めています。

学校の文化祭では、毎年、巨大な紙に大きな筆などを使って書く書道パフォーマンスを披露しています。大勢の保護者や生徒、地域住民が見守る中、今年は、文化祭のテーマ「英姿颯爽」という文字をアレンジしました。



2年(中山) 部長 永井 綾さん

現在、書道パフォーマンスは、学校の文化祭のみで披露していますが、希望があれば、イベントなどでもパフォーマンスをしたいと思っています。皆さんにもっと書道に興味をもってもらいたい！そんな気持ちで私たちは日々活動しています。

## 那須鳥山ジオパーク構想だより⑨

手つかずの遺構が残る 鳥山城跡

「鳥山城」は、八高山に築かれた山城で、山の形が牛の寝ている姿に似ていることから別名「臥牛城」とも呼ばれています。

応永25年(1418)、那須氏一族の沢村五郎資重によって築城されたと言われており、その後、天正18年(1590)まで那須氏の居城となりました。戦国末期、江戸中期においては頻繁に城主の交代が行われ、享保10年(1725)大久保



見どころ紹介



常春入封の後は大久保氏が8代つねはる 140余年にわたり城主となり、明治2年(1869)の版籍奉還とともに廃城となりました。現在も地形(ジオ)を活かした空堀や、石垣などの遺構を良好な状態で確認することができます。

鳥山城は今年築城600年。市では国史跡の指定を目指して確認調査中であり、記念イベントなどを開催予定です。この節目の年に、ふるさとの誇る財産に触れてみてはいかがでしょうか。